

公衆衛生看護学概論

単位数（時間数）：2 単位（30 時間） 必修/選択：選択 履修年次：3 年次 開講時期：前期

科目責任者（職位・氏名）：教授・佐藤 公子

科目担当者（職位・氏名）：助教・石田 知世、非常勤講師・会田 薫子

対応DP：基礎力をもった社会人 ケア・スピリット 看護専門職者としての基本姿勢
看護の基礎的・専門的知識と技術 社会への関心と地域貢献 生涯学習・自己研鑽

科目記号：82

■ 授業概要

公衆衛生看護の定義と特質及び公衆衛生看護活動の歴史、理念、機能について理解し、後に続く公衆衛生看護関連科目の基礎を教授する。

■ 到達目標

1. 公衆衛生看護の定義および対象について説明できる。
2. 公衆衛生看護の倫理について説明できる。
3. 保健師のコアコンピテンシーについて説明できる。
4. 公衆衛生看護の歴史を学び、新たな公衆衛生看護活動について論述できる。
5. 公衆衛生看護活動における研究の必要性について説明できる。

■ 教育内容

公衆衛生看護学概論

■ キーワード

公衆衛生看護、公衆衛生看護の倫理、公衆衛生看護活動の歴史

■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

回	授業項目	授業内容・授業方法	担当
1	ガイダンス 公衆衛生看護の基本理念と目的	ガイダンス 公衆衛生看護とは 公衆衛生の仕組みと感染症 環境・疾病構造・社会構造の変化と健康観 生活者としての対象理解 健康レベル・健康状態に応じた支援 海外と日本の歴史と保健師	佐藤
2	公衆衛生看護の対象と場①	母子・成人	石田
3	公衆衛生看護の対象と場②	高齢者・障害者 公衆衛生看護活動の場：学校保健・産業保健 地域包括ケアシステムから、全ての人を対象とした総合支援体制⇔地域共生社会づくり	佐藤
4	公衆衛生看護の対象と場③	住民の組織活動と公衆衛生看護の役割	佐藤
5	公衆衛生看護の対象と場④	自主グループ活動の実際と支援	佐藤
6	公衆衛生看護の対象と場⑤	難病保健・精神保健	佐藤
7	地域保健活動 地域看護活動に必要な援助技術	家庭訪問と健康相談など	石田
8	社会状況の変化に合わせた保健活動①	公衆衛生看護の活動の対象と場（保健所・市町村における保健活動） 社会状況の変化と保健師活動 公衆衛生活動の原点 森永ヒ素ミルク中毒 水俣病事例 感染症対策	佐藤
9	社会状況の変化に合わせた保健活動②	公衆衛生看護学の諸理論 プライマリヘルスケア、ヘルスプロモーション、個人・家族機能を支援するための理論と方法、ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチ、コミュニティアプローチ、プリシード・プロセスモデル	佐藤
10	地域療養者とその家族を支える多職種連携①	多職種連携①	佐藤
11	地域療養者とその家族を支える多職種連携②	多職種連携②	佐藤
12	地域療養者とその家族を支える多職種連携③	社会資源マップの利用	佐藤

13	公衆衛生看護における倫理①	【リモート】 倫理の基礎 公衆衛生の営みと倫理	会田
14	公衆衛生看護における倫理② 公衆衛生の倫理学	国家は健康にどこまで介入すべきか	佐藤
15	まとめ	公衆衛生看護学概論	佐藤

■ 履修条件

ヘルスプロモーション論、公衆衛生学の単位を取得していること。

■ 成績評価方法

筆記試験 100%

■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

希望者に対して試験のフィードバックを行う。希望者は、試験日以降 2 週間以内に、事前にアポイントを取った上で、科目責任者の研究室を訪ねること。

■ 教科書

- ・村嶋幸代他編（2022）『保健学講座 1 公衆衛生看護学概論』メヂカルフレンド社
- ・井伊久美子他編（2025）『新版 保健師業務要覧 第 4 版 2025 年版』日本看護協会出版会

■ 参考書・参考資料等

- ・標美奈子他編（2022）『標準保健師講座 1 公衆衛生看護学概論 第 6 版』医学書院
- ・麻原きよみ他編（2022）『公衆衛生看護学テキスト 第 1 巻 公衆衛生看護学原論 第 2 版』医歯薬出版株式会社
- ・上野昌江他編（2025）『公衆衛生看護学 第 4 版』中央法規
- ・厚生労働統計協会（2024）『国民衛生の動向 2024/2025』厚生労働統計協会

■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

- ・事前学修：シラバス該当箇所のテキスト及び参考資料を読了しておくこと。
 - ・事後学修：配布資料を確認し、理解に努めること。
- 事前・事後学修は、各 90 分程度行うこと。

■ 担当教員からのメッセージ

公衆衛生看護学は保健師の基盤となる学問です。そして、公衆衛生看護学概論は保健師について学ぶための道標です。この科目を通し、保健師活動の本質を捉え、その創造性や面白さまでも感じながら学びを深めていきましょう。

■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

研究室 12、kisato★iwate-uhms.ac.jp、各授業日 17:00 まで。

(※メールの際は★を@にしてください)

■ 担当教員の実務経験の有無

有

■ 担当教員の実務経験

保健師・研究職

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

無

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

■ 実務経験を活かした教育内容

公衆衛生看護活動の歴史研究を基に、新たな公衆衛生看護活動について論述したいと考えている。